

【まちづくり提案（案）】

はじめに

私たち、赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会は、2015年（平成27年）9月に赤羽駅東口の将来のまちづくり像を「赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想」としてまとめました。

それから8年が経過し、駅前地区での市街地再開発事業に代表される新たなまちづくりの動きなど、地区周辺を取り巻く環境は大きく変わってきています。

私たち協議会は、この機に、あらためて「赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想」を、地区住民が目指すまちの将来像として、それぞれが主体となってその実現を図るものとして共有できるよう、より具体的な表現として表すことを試みることにしました。

2020年にその具体的な取組みを開始して以来、足掛け4年にわたる幹事会の議論を中心に、協議会を構成する地区内の町会自治会、商店街、小中学校PTAへのグループインタビューをはじめ、一般公募によるワークショップ、そして「赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想」策定以降では初めてとなる「まちづくり懇談会」の開催を通じて、できる限り赤羽東口のまちづくりに係わる方々のご意見等をうかがう機会を設け、ご意見やご要望をお聞きしてきました。

そして、それらの機会を通じていただいた地域の多くの皆さんの「赤羽駅東口に係わるまちづくり」への思いを、できる限り生かしながら、議論・協議を重ね、この「まちづくり提案」をまとめました。

私たち協議会は、まちづくりに関わるすべての主体が、この「まちづくり提案」を共有し、まちづくりのあらゆる場面で、それぞれの主体が提案の内容を意識して、今後のまちづくりに取り組まれることを強く期待します。

2023年〇月〇日（総会開催日）

赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会

【地域の拠点施設について】

「赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想」において、「地域の拠点施設」としての土地利用の位置づけがなされた、現在の赤羽小学校の敷地周辺は、今後も将来に渡り、地域の拠点としての役割を果たしていくことが望ましいことを再確認しました。

○「地域の拠点施設」としての具体的な土地利用にあたっては、長い歴史の間、地域に親しまれ、多様な地域活動の中心となってきた、赤羽小学校をそのまま存置し続けることが望ましいとの意見が多くありました。また、赤羽小学校は学校改築の時期が迫っていることから、まずは教育施設としての充実を図りながら、防災拠点としての機能を高めることを望みます。

そのうえで、赤羽小学校が「地域の拠点施設」として、今後の地域の発展と活力の向上に寄与し、一層その機能を発揮するため、学校教育に支障のない範囲で、文化・交流・福祉等の機能を有する公共施設等との複合施設として充実が図られることを望みます。

○事業化の検討が進む駅前周辺の市街地再開発事業については、地区周辺の防災性の飛躍的な向上に加え、都市基盤の整備、賑わいや地域活力を維持し魅力あるまちづくりが進むなどの視点から、岩淵地区等後背地への波及効果を含め、赤羽駅東口にとどまらず、駅西口を含めた駅周辺まちづくりへの寄与、貢献を期待するところです。

また、市街地再開発事業の事業化により、日影や風害など赤羽小学校の教育環境をはじめ、周辺地域の生活環境へ大きな影響を与えないよう、まちづくりを主導する区が主体的に、事業主体と十分協議し、最大限努めることを望みます。

なお、現在事業化の動きが顕在化していない地区において開発が今後計画される際にも、同様の対応を区には望みます。

○「地域の拠点施設」に係わる提案は以上が、望ましいものと考えます。

そのうえで、今後検討が進む市街地再開発事業による、赤羽駅東口のまちづくりへのより大きな効果が認められる場合や、同事業による赤羽小学校をはじめとした周辺地域への環境への影響が十分低減できない場合等にあっては、学校関係者をはじめ地域住民への十分な説明と理解を前提に、赤羽小学校の地区内他所への移転については「次善の策」と考えます。

その際は、他所に現在ある機能をできる限り現地もしくはその周辺で確保できるよう最大限の配慮を、公共施設の設置者である区には強く望みます。

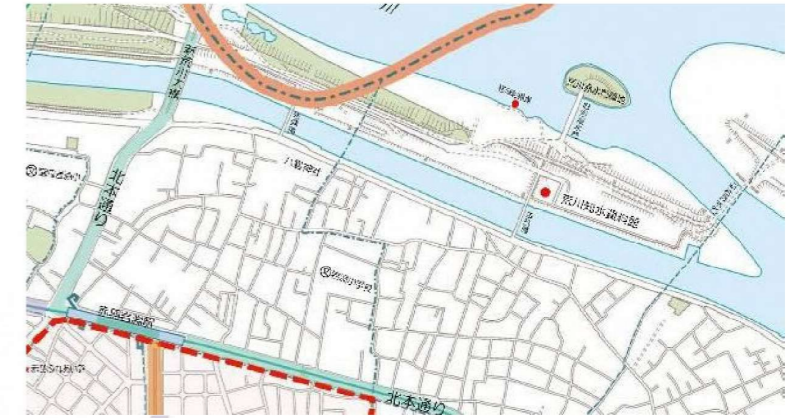
【地域の拠点施設と連動した周辺まちづくりについて】

- 赤羽駅と「地域の拠点施設」とを繋ぐ「赤羽駅東口の駅前広場」は、バスの乗換利便性の向上など交通機能の充実を図りつつ、赤羽駅東口の「顔」として相応しい、賑わいや交流を生み、誰もが心地よく快適に利用できる、ゆとりある空間として、整備されることが望まれます。
- 地域にとって大切な憩いの空間であり、貴重なオープンスペースとなっている「赤羽公園」については、早期の改修を求めます。
改修にあたっては、誰もが利用しやすく、地域の憩いの場、賑わいの場として親しまれるとともに、防災機能も備えた公園として再整備されることを望みます。
- 赤羽を特徴づけている多彩な商店街は、商店街のそれぞれの個性を継承しつつ、安全で快適な買い物環境づくりを進めるとともに、市街地再開発事業による新たな商業施設を含め、地域全体で協調を図り、変化するまちのニーズに合わせて、引き続き赤羽の魅力を高める商業空間として、一層の発展が望まれます。
- 日光御成道の宿場町として繁栄した岩淵町にも接する赤羽岩淵駅周辺は、歴史や自然に恵まれた地域への導入部として、赤羽駅との関係性を高めていく必要があると考えます。今後は、赤羽駅や「地域の拠点施設」とのアクセス性の強化、双方の間の市街地での賑わいの繋がりづくりなどを望まれます。
- 荒川の雄大な自然空間や、東洋大学、ナショナルトレーニングセンターなどは、赤羽ならではのまちづくりを図るうえでの貴重な地域資源といえます。これまで以上に、それらをコンテンツとして活かし、結び付けて、まちの魅力発信の機会や場の創出など、ハード・ソフトの両面から駅西口側との連携も図りながら取組みを進めることが望まれます。
- 今後更新が期待される赤羽公園及び赤羽会館に続く主要な道路や、商店街などの街路空間を快適にして、駅前広場や「地域の拠点施設」とつなぐとともに、地域全体に回遊性を生み出して、長い時間、楽しく滞在できる、ウォークアブルなまちづくりが望まれます。
- 誰もが求める多様な生活スタイルで住み続けられる、まちの環境整備や機会の提供を図っていくことが望まれます。

赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想

【地図凡例】

- ㊦① 赤羽八幡神社
- ㊦② 八雲神社
- ㊦③ 亀ヶ池弁財天
- ㊦④ 宝幢院
- ㊦⑤ 静勝寺(稲付城跡)
- ㊦⑥ 赤羽消防署
- ㊦⑦ 赤羽郵便局
- ㊦⑧ カトリック赤羽教会

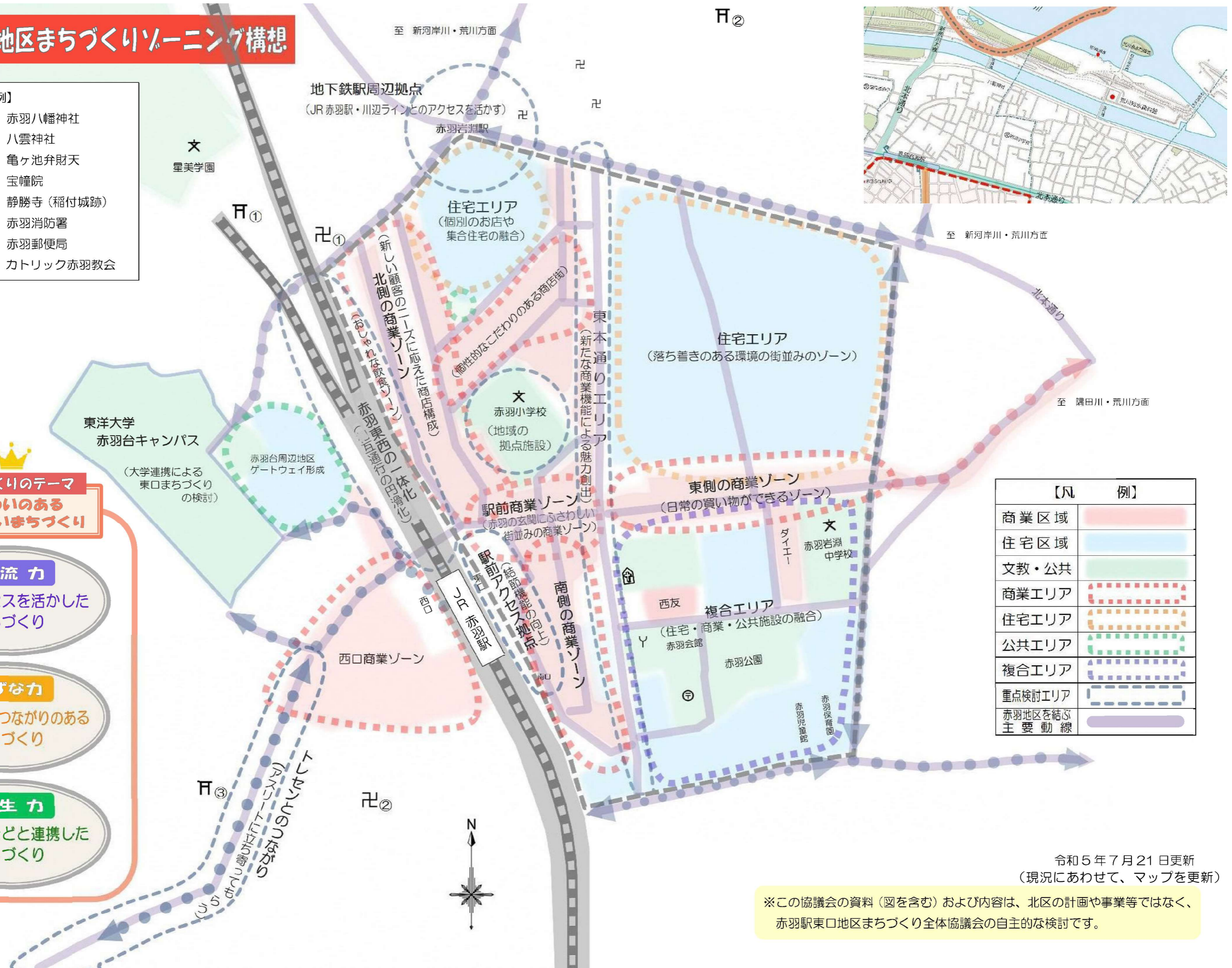


まちづくりのテーマ
にぎわいのある
住みやすいまちづくり

交流力
交通アクセスを活かした
まちづくり

きずな力
安全・安心でつながりのある
まちづくり

創生力
教育機関などと連携した
まちづくり



【凡 例】	
商業区域	
住宅区域	
文教・公共	
商業エリア	
住宅エリア	
公共エリア	
複合エリア	
重点検討エリア	
赤羽地区を結ぶ 主要動線	

令和5年7月21日更新
(現況にあわせて、マップを更新)

※この協議会の資料(図を含む)および内容は、北区の計画や事業等ではなく、赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会の自主的な検討です。